

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(イラストレーション科 イラストレーターコース)

科目区分	授業科目	実務教員による授業	うちシラバス添付	第1学年		第2学年		授業時間数合計	実務教員授業時数		うちシラバス添付授業時数	
				週間授業時数	年間授業時数	週間授業時数	年間授業時数		第1学年	第2学年	第1学年	第2学年
講義科目	就職ガイダンス			2	64			64				
実技・演習	PCオペレーション (Illustrator)	●		8	24			24	24			
	PCオペレーション (Photoshop)	●		8	24			24	24			
	デッサン	●		4	72	4	48	120	72	48		
	キャラクタートレーニング	●		4	48			48	48			
	画材研究・デザインワーク	●		4	48			48	48			
	デザイン構成	●	★	4	68			68	68		68	
	デジタルイラスト	●		4	108			108	108			
	色彩学	●		4	48			48	48			
	Web基礎	●		2	34			34	34			
	イメージ構成	●		4	40	4	36	76	40	36		
	イラストグッズデザイン	●		4	40			40	40			
	カメラワーク	●		4	44			44	44			
	ブランディング	●		4	68			68	68			
	DTP/ Illustrator	●		4	40			40	40			
	B・C・D	●		2	24			24	24			
	イラストディレクション	●	★	4	68			68	68		68	
	ファンシーイラスト	●		4	68			68	68			
	イラスト実践	●		4	68			68	68			
	商品企画	●	★			4	64	64		64		64
	デザイン構成	●	★			4	48	48		48		48
	描画表現	●				4	64	64		64		
	イラスト+プレゼン	●				4	64	64		64		
	アートディレクション	●				4	64	64		64		
フリーランス養成	●				4	36	36		36			
卒制ファンデーション					4	48	48					
卒業制作					4	300	300					
その他	体育祭				10		10	20				
	東美祭				70		70	140				
	卒業制作展						20	20				
	健康診断				2		2	4				
	個人面談				2		2	4				
	オリエンテーション				10		10	20				
総授業時数					1,092		886	1,978	934	424	136	112

2019年度
指導内容書

イラストレーション科イラストレーターコース 1年

授業名 イラストディレクション

授業計画進行表(前期(後期))

担当講師 乙坂広和

回数・日付	授業内容	回数・日付	授業内容
第1回 9/3	イラストディレクションオープニング講義 ・仕事としてのイラストレーションとは? ・イラストレーターのお仕事とは? ・共通練習課題①出題	第10回 /	共通採点課題①出題 ～練習課題⑨の個人チェック
第2回 9/10	・共通練習課題①の個人チェック ・個人練習課題②出題	第11回 /	共通採点課題①中間チェック
第3回 9/17	練習課題②の個人チェック ～個人練習課題③出題	第12回 /	共通採点課題①の全体講評 ～共通採点課題②出題 ～ゲスト卒業生参加(予定)
第4回 9/24	練習課題③の個人チェック ～個人練習課題④出題	第13回 /	共通採点課題②中間チェック
第5回 10/1	練習課題④の個人チェック ～個人練習課題⑤出題	第14回 /	共通採点課題②の全体講評 ～共通(最終)採点課題③出題 ～共通採点課題①の個人チェック
第6回 10/8	練習課題⑥の個人チェック ～個人練習課題⑥出題	第15回 /	共通(最終)採点課題③中間チェック
第7回 10/29	練習課題⑥の個人チェック ～個人練習課題⑦出題	第16回 /	共通(最終)採点課題③の全体講評 ～共通採点課題②③の個人チェック 授業の振り返り
第8回 11/5	練習課題⑦の個人チェック ～個人練習課題⑧出題	第17回 /	
第9回 11/12	練習課題⑧の個人チェック ～個人練習課題⑨出題	第18回 /	

授業形式 講義・**練習**・実験・実習実技

授業内容

“仕事になるイラスト”を描けるようになってもらう。グラフィックデザインの世界でのイラストレーターに求められているもの、必要なものを個人個人に徹底的に指導し自覚させる。
デザイナーの立場から、仕事としてのイラストというものを理解させ、描かせる。もともと持っている各人の絵の個性や世界観を大切に、仕事で使えるイラストへとステップアップさせ、さらに幅を広げ、実践レベルに引き上げる。
個人個人のイラストのスタイルを構築し、方向性を定めさせる。
手描きの重要性、デジタルの重要性、そしてその使い分けを理解させる。デザインやデザイナーの仕事を理解しているイラストレーターを育てる。
【講師紹介】
東洋美術学校にて専任講師として、担任業務・授業指導を行う。平成18年、フリーランスのグラフィックデザイナーとして独立し、個人事務所「count basic design」を設立。雑誌の紙面デザインを中心に、広告、カタログ、HPのデザイン等、グラフィックデザイン全般にわたる媒体デザインを制作。

到達目標

デザインを踏まえたイラストを制作できる
イラストの表現の幅を広げる

成績評価基準

学習内容、作品内容の他にも制作、学習態度等を考慮して評価される。
講義科目：試験の評価、レポートの評価、出席状況、学習態度等を総合して評価される。
100-90点:A
89-80点:B
79-70点:C
69-60点:D
59点以下:不合格

提出課題

練習課題:9課題(個人添削) 共通採点課題:3課題

学生を持ち物、授業内で必要な材料など

スケッチブック、PC、USB

2019年度

指導内容書

イラストレーション科イラストレーターコース 1年

授業名 デザイン構成

授業計画進行表(前期 後期)

担当講師 吉川拓史・吉川弘美・菅野綾

回数・日付	授業内容	回数・日付	授業内容
第1回 9/7	(構成力)新聞広告:アイデアスケッチ 夏休み課題:修正	第10回 11/16	雑誌の表紙制作:修正データ提出 パッケージ:ラフチェック
第2回 9/14	新聞広告:ラフチェック	第11回 11/30	(ブランディング)ショップのツール制作:アイデアスケッチ パッケージ:ラフチェック
第3回 9/21	新聞広告:完成データチェック・修正 夏休み課題提出締め切り	第12回 12/7	ショップのツール制作:ラフチェック パッケージ:完成データチェック、修正
第4回 9/28	新聞広告:修正データ提出 (構成力)本の装丁:アイデアスケッチ	第13回 1/11	ショップのツール制作:完成データチェック、修正 パッケージ:修正データ提出
第5回 10/5	(構成力)本の装丁:ラフチェック	第14回 1/18	ショップのツール制作:修正データチェック
第6回 10/12	雑誌の表紙制作:アイデアスケッチ 本の装丁:完成データチェック、修正	第15回 1/25	ショップのツール制作:修正データ提出
第7回 10/26	雑誌の表紙制作:ラフチェック 本の装丁:修正データ提出	第16回 2/1	講評会
第8回 11/2	雑誌の表紙制作:ラフチェック、構成チェック	第17回 /	/
第9回 11/9	雑誌の表紙制作:完成データチェック、修正 パッケージ:アイデアスケッチ	第18回 /	/

授業形式 講義・**実習**・実験・実習実技

授業内容

文字・レイアウトなど文字について、もっと掘り下げて各回の実習テーマに乗せて講習していく。
生徒達の若い感性を生かし、デザインの無限の可能性を感覚で感じ取ってもらえるよう、実習を通して身につけるカリキュラム。基本3週単位で作品を仕上げる。まず1週目でアイデア出し、2週目は紙と鉛筆でカンブスケッチを制作、翌週MACを使って作品を仕上げる。チェック後、最終修正提出。作品は自分のイラストを必ず使用すること。
【講師紹介】
吉川拓史：有限会社パリティ・ブレイク 代表取締役社長。株式会社アド・ブレーション、ミサワホーム株式会社等の企画・広告制作を経て独立。
吉川弘美：株式会社ソニークリエイティブプロダクツにて化粧品部門デザインルーム配属、株式会社ジャパンライフデザインシステムズでアートディレクター、プロデューサーとして勤務を経て独立。
菅野綾：シクローマーケティング株式会社、株式会社講談社 動画事業部に勤務する傍らフリーランスとして活動している。

到達目標

手書きでの実習制作も取り入れ、PCを使った安易なきれいさに惑わされない、本当のデザインのよさの見極める力を身につける。
「イラストをデザインに生かす」思考を身につけさせる。

成績評価基準

学習内容、作品内容の他にも制作、学習態度等を考慮して評価される。
講義科目：試験の評価、レポートの評価、出席状況、学習態度等を総合して評価される。
100-90点:A
89-80点:B
79-70点:C
69-60点:D
59点以下:不合格

提出課題

- ・毎週の課題街でカッコイイデザインを探してこよう
- ・個人添削、制作の進行チェック
- ・各課題のラフ、カンブ、完成作品、修正作品の4点

学生の持ち物、授業内で必要な材料など

PC、クローキー帳、A4クリアファイル、筆記用具

2019年度

指導内容書

イラストレーション科イラストレーターコース 2年

授業名 デザイン構成

授業計画進行表(前期・後期)

担当講師 吉川拓史・吉川弘美

回数・日付	授業内容	回数・日付	授業内容
第1回 4/17	2020年カレンダー(6枚以上の構成):アイデアスケッチ 自己紹介冊子の制作:アイデアスケッチ 商業施設の広告(ファッション関連):アイデアスケッチ	第10回 7/3	2020年カレンダー(6枚以上の構成):完成データ提出 自己紹介冊子の制作:完成データ提出 電車広告:講評会
第2回 4/24	2020年カレンダー(6枚以上の構成):アイデアスケッチチェック 自己紹介冊子の制作:企画内容チェック 商業施設の広告(ファッション関連):ラフチェック	第11回 7/10	講評会 2020年カレンダー(6枚以上の構成):実物提出 自己紹介冊子の制作:実物提出
第3回 5/8	2020年カレンダー(6枚以上の構成):アイデアスケッチチェック 自己紹介冊子の制作:企画内容チェック 商業施設の広告:ラフチェック ポスター広告:アイデアスケッチ	第12回 /	/
第4回 5/15	2020年カレンダー(6枚以上の構成):ラフチェック 自己紹介冊子の制作:企画内容チェック 商業施設の広告:完成データチェック・修正 ポスター広告:ラフスケッチ	第13回 /	/
第5回 5/29	2020年カレンダー(6枚以上の構成):ラフチェック 自己紹介冊子の制作:台割提出 商業施設の広告:修正提出 ポスター広告:ラフスケッチ 電車広告:アイデアスケッチ	第14回 /	/
第6回 6/5	2020年カレンダー(6枚以上の構成):カンパチェック 自己紹介冊子の制作:台割修正 商業施設の広告:講評会 ポスター広告:完成データチェック・修正 電車広告:ラフチェック	第15回 /	/
第7回 6/12	2020年カレンダー(6枚以上の構成):カンパチェック 自己紹介冊子の制作:カンパチェック ポスター広告:修正データ提出 電車広告:ラフチェック	第16回 /	/
第8回 6/19	2020年カレンダー(6枚以上の構成):カンパチェック 自己紹介冊子の制作:カンパチェック ポスター広告:講評会 電車広告:完成データチェック・修正	第17回 /	/
第9回 6/26	2020年カレンダー(6枚以上の構成):進行チェック 自己紹介冊子の制作:進行チェック 電車広告:修正データ提出	第18回 /	/

授業形式 講義・**演習**・実験・実習実技

授業内容

個性が際立つ・印象に残るポートフォリオのための作品を制作
自作のイラストを使ってオリジナルのビジュアルを考える
リアルな題材で即戦力をアピール
媒体やターゲットを意識した作りわけ

【講師紹介】

吉川拓史: 有限会社バリティ・ブレイク 代表取締役社長。株式会社アド・ブレーション、ミサワホーム株式会社等の企画・広告制作を経て独立。
吉川弘美: 株式会社ソニークリエイティブプロダクツにて化粧品部門デザインルーム配属、株式会社ジャパンライフデザインシステムズでアートディレクター、プロデューサーとして勤務を経て独立。

到達目標

様々なデザイン・表現方法を自分で考える力を身につける

成績評価基準

学習内容、作品内容の他にも制作、学習態度等を考慮して評価される。
講義科目: 試験の評価、レポートの評価、出席状況、学習態度等を総合して評価される。
100-90点:A
89-80点:B
79-70点:C
69-60点:D
59点以下: 不合格

提出課題

- ・毎週の課題街でカッコイイデザインを探してこよう
- ・個人添削、制作の進行チェック
- ・各課題のラフ、カンパ、完成作品、修正作品の4点

学生の持ち物、授業内で必要な材料など

PC、クローキー帳、A4クリアファイル、筆記用具

2019年度

指導内容書

イラストレーション科イラストレーターコース 2年

授業名 商品企画

授業計画進行表(前期 後期)

担当講師 高橋剛

回数・日付	授業内容	回数・日付	授業内容
第1回 4/19	●自己紹介 プロフィールを交えた業界話 ■講義:楽しい発想からスタート 商品企画とは?	第10回 6/28	■講義:商品企画と流通マーケット 店頭表現を考える 課題制作:指導
第2回 4/26	■講義:商品企画開発とは 「楽しい発想から商品化」 素材・製品・商品の違い 商品化のプロセスについて	第11回 7/5	■プレゼンテーション3 「商品企画の意図」を人に伝える事 描くイラストを活かすプラン ※開発商品アイデアの発表
第3回 /	■テーマ題材 課題1の制作 課題制作:指導	第12回 7/12	■講義:商品企画開発総括 「楽しい発想から商品化へ1」 素材製品・商品の違い 商品の購買動機
第4回 5/17	■講義:商品企画:企画書 課題制作:指導	第13回 /	
第5回 5/24	■プレゼンテーション 「デザインの意図」を人に伝える事 描くイラストを活かすプラン ※開発商品アイデアの発表	第14回 /	
第6回 /	●テーマ題材 課題2の制作 課題制作:指導	第15回 /	
第7回 6/7	■講義:商品企画:コスト 課題制作:指導	第16回 /	
第8回 6/14	■プレゼンテーション2 「商品の意図」を人に伝える事 描くイラストを活かすプラン ※開発商品アイデアの発表	第17回 /	
第9回 6/21	■テーマ題材 課題3の制作 課題制作:指導	第18回 /	

授業形式 講義・**実習**・実験・実習実技

授業内容

発売中の商品や販売促進品を企画テーマ題材とし、自分の描くイラストを使ったアイデア・デザインを考え、その発表。商品とイラストの関わりや商品化プロセス、商品企画と開発の現状を指導。(12回授業中3種のテーマ題材で企画を考える)描く絵を商品化する喜びや、市場や顧客に評価される商品企画を創造し、現実の制約に負ける事のないように、「豊かな表現力」や「こだわり」「思い入れ」が基本になることを心がけた講義を行う。

【講師紹介】

ジー・オーデザインオフィス 代表取締役社長。
株式会社バンダイの企画会社であるクリエイティブ21にてキャラクター玩具の企画デザイン、株式会社ハニーでは、企画室とマーケティング室を兼務。後に独立後に会社設立。

到達目標

アイデアの考え方・柔軟な発想
企画・商品化までのプロセスを理解し、それを意識した作品制作

成績評価基準

学習内容、作品内容の他にも制作、学習態度等を考慮して評価される。
講義科目:試験の評価、レポートの評価、出席状況、学習態度等を総合して評価される。
100-90点:A
89-80点:B
79-70点:C
69-60点:D
59点以下:不合格

提出課題

アイデアサムネール
商品の企画書(商品名、価格、マーケット、ターゲット、商品スペック記入)
商品デザインのダミースケッチ
プレゼン内容

学生の手荷物、授業内で必要な材料など

PC、筆記用具、着色材料など